Den-tec Tokyo

東京歯技

2019 10月号　519号

『残照』江の島にて
都技フォトクラブ在籍　南部ブロック
目黒歯科技工士会　遠藤　勇

- 一般社団法人　東京都歯科技工士会役員名簿 …… 2
- 令和元年度 都技学術講習会 開催予定 …… 3～4
- 東京デンタルショー2019セミナー案内 …… 4
- 都技学術講習会報告
  応用講習会Ⅱ／卒後実習講習会Ⅰ／復職支援講習会Ⅰ／『今後のデジタル社会を見据えたラボ経営』を拝聴して／「デンタル CAD ソフト・デザイン・マスターコース」に参加 …… 5～7
- ブロック情報
  西部ブロック・中野歯技義歯名入れに参加して …… 7
- 組織活動報告
  令和元年度東京都・多摩市合同総合防災訓練参加報告 …… 8
- 第15回都技ボウリング大会報告 …… 8
- 2019年度　第３回東京都歯科技工士会理事会議事録 …… 9
- 在京歯科技工士学校同窓会連絡会　創立30周年記念祝賀会 …… 10
- 都技のうごき／会費のご案内／都技慶弔見舞／新入会員紹介 …… 11

一般社団法人 東京都歯科技工士会

https : //www.to-ginet.com/

〒170－0004　東京都豊島区北大塚２－２－10
ヴィップ大塚香川ビル４F

都技 HP
QR コード

まとめてメール
QR コード

一般社団法人　東京都歯科技工士会役員名簿

任期：2019年６月29日の社員総会終結時から2021年６月開催予定の社員総会終結時まで

氏名	Photo	役職	担当	挨拶
石川　功和		会　　長		会員の声に耳を傾け、頼りがいのある会にしていきます。
宇山　慶昌		副 会 長	総務(庶務・財務)・品質管理	都技の運営がスムーズに動くように努力します。
小笠原　明		副 会 長	学術・広報	都技の質実剛健な運営に尽力したいと思います。
西澤　隆廣		副 会 長	社会福祉・組織・経営	会務運営に今まで同様に全力を傾注し、業界発展に努めて参ります。
狩野　眞澄		専務理事	統括	開かれた会務運営に努め会員の為に奮励努力します。
石原　孝樹		常務理事	学術・広報	会員を増やすため魅力あるコンテンツを発信できるよう努めます。
木村　　正		常務理事	組織（技工所）・経営	活力ある組織作りに邁進してまいります。
佐藤　宅哉		常務理事	組織（勤務者）・総務（庶務）	適切な業界団体に少しでも近づけられるよう尽力します。
妹島　利行		常務理事	総務（財務）・社会福祉	会員の皆様の満足度向上に努めてまいります。
長津　弘志		常務理事	社会福祉	今までの経験を生かし、会員の為の仕事をします。
松尾　博子		常務理事	広報	会員の皆様が心待ちとなる広報を作ります。
山本　裕一		常務理事	学術	都庁委託事業19催事の運営ならびに今期から始まったデジタルCADソフト「exocad」トレーニングコースを担当しております。一人でも多くの方にとってプラスとなれば幸いです。
横内　　正		常務理事	総務（庶務）・品質管理	会員様が大勢参加して頂ける催事を企画して参ります。
西村佳江子		監　　事		財務・事業の健全運営を監査アドバイスしたい。
山本　哲也		監　　事		３期目も慣れないように初心を忘れず努めます。

令和元年度 都技学術講習会　開催予定

令和元年９月10日現在

事業概要

東京都民の保健衛生向上と公共福祉に貢献することを目標に掲げ、営利団体では提供が困難な歯科技工技術レベルの維持・向上を目的とした生涯研修事業を行うと共に、最新技術や新素材の紹介、復職支援、学生等支援に関する講習会事業を行います。

１．全都講習会、基本・応用講習会、卒後実習講習会（歯科技工士生涯研修事業）
　①全都講習会　　１催事（１日）　基本研修課程
　②基本講習会　　２催事（半日－１日）　基本研修課程
　③応用講習会　　４催事（半日－１日）　自由研修課程
　④卒後実習講習会　３催事（２日間）　自由研修課程
２．最新の歯科技工技術に関する講習会　４催事（半日－１日半）
３．復職支援講習会　２催事（半日－１日半）
４．学生等支援講習会　３催事（半日－１日半）

開催日程

全都講習会（１催事）　【基本研修５単位】

開催日：2020年３月１日（日）
時　間：10：00～17：00
会　場：東京歯科大学歯学部新館５階
テーマ：「口腔の形態と機能を回復する補綴装置をめざして」
講　師：阿部伸一先生（解剖学講座）
　…「技工サイドでイメージしたい加齢による形態と機能の変化」
　上田貴之先生（老年歯科補綴学講座）
　…「オーラルフレイル・口腔機能の低下に対応する義歯のマネジメント）」
　中島　純子（老年歯科補綴学講座）
　…「顎顔面補綴装置による咀嚼・構音・嚥下機能に対するアプローチ」

基本講習会（２催事）

◆基本講習会Ⅰ【基本研修５単位】【終了しました】
【担当：東部ブロック】

応用講習会（４催事）

◆応用講習会Ⅰ【終了しました】
【担当：西部ブロック】

◆応用講習会Ⅱ【終了しました】
【担当：南部ブロック】

◆応用講習会Ⅲ
【担当：東部ブロック】
開催日：2019年11月17日（日）
時　間：13：00～17：00
会　場：KFC ホール　両国
テーマ：若手リレーセミナー
講　師：連絡待ち

卒後実習講習会（３催事）

◆卒後実習講習会Ⅰ【終了しました】
【担当：本部】

◆卒後実習講習会Ⅱ
【担当：本部】
開催日：2019年９月28日（土）・29日（日）
時　間：９月28日（土）13：00～17：00
　　：９月29日（日）10：00～17：00
会　場：新東京歯科技工士専門学校
テーマ：調整量の少ないクラウンを目指して
　～ロックモデル（エポキシ樹脂系歯型材）を用いた模型作りとコバルト・クロム合金製ブロック（シンターメタル）の紹介～
講　師：檜田健幸先生

最新の歯科技工技術に関する講習会（４催事）

◆最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅰ【終了しました】
【担当：西部ブロック】

◆最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅱ

【担当：本部】

開催日：2019月11日10日（日）
時　間：10：00～17：00
会　場：早稲田トレーニングCADセンター　研修室
テーマ：カスタム・アバットアバットメント・ベーシック(実技付)ならびにサードパーティーを用いたカスタムアバットメント製作について
講　師：大木智弥生先生、与那城智宏先生

復職支援講習会（２催事）

◆復職支援講習会Ⅰ【終了しました】

学生等支援講習会（３催事）

◆学生等支援講習会Ⅰ

開催日：2019年10月６日（日）
時　間：13：00～17：00
会　場：新東京歯科技工士学校
テーマ：３shapeデジタルCADソフトベースコース
講　師：難羽康博先生
定　員：24名（＊事前申込制、聴講不可）

◆学生等支援講習会Ⅱ

【担当：中央ブロック】

開催日：2019年10月20日（日）
時　間：13：00～17：00
会　場：フクラシア東京ステーション
テーマ：確認中
講　師：荒川愛子先生、金井正行先生

現在、決定している日程・内容です。
※詳細はリーフレットでお知らせします。

口腔から全身の健康を科学する
東京デンタルショー2019
TOKYO DENTAL SHOW

入場無料

11月９日（土）11：00～18：00
11月10日（日）９：00～17：00
東京ビッグサイト西１・２ホール

（一社）東京都歯科技工士会では、（公社）日本歯科技工士会副会長の山下茂子先生に「歯科技工士の働き方改革」をテーマにセミナーをお願いしています。ご参加よろしくお願いいたします。

〔11月10日　セミナーB会場　10：00～11：00〕

歯科技工士の働き方改革

公益社団法人 日本歯科技工士会　副会長
株式会社デンタルデジタルオペレーション　専務取締役
山下茂子先生

昨年、歯科技工士にとって重要な参議院本議会で可決・成立いたしました「働き方改革関連法案」の内容説明及び雇用関係助成金等のご紹介もさせていただきます。
対象：歯科医師・歯科技工士

歯科用金属 アーゲン アロイ
ARGEN ALLOY

50年以上の歴史を持つARGEN社(米国)は歯科用金属を世界105カ国へ輸出し、高い評価を得ています。

世界販売実績 100カ国以上!

■ 金合金・白金加金

ARGENCO BEST CAST アージェンコ ベスト キャスト
白金の配合効果によりスペックを向上
認証番号：218AKBZX00053000

ARGENCO 56 アージェンコ 56
操作性万能の白金加金
認証番号：220AGBX00280000

■ 陶材焼付用合金

ARGEDENT52 アージデント 52
操作性に優れたオールラウンドなスペック
認証番号：220AGBZX00267000

ARGELITE 61 アージライト61
接着強度に優れ、綺麗な酸化膜色
認証番号：220AGBZX00273000

※価格はすべて時価となっております。ご注文方法や種類、成分などの詳細については、お問い合わせください。

都技学術講習会報告

応用講習会Ⅱ

株式会社　ケイテックス　神尾　篤紀

石澤亮一先生 講習会に２日間参加して

石澤亮一先生

2019年６月28日（金）、新東京歯科技工士学校６階にて都技講習会
講師、（株）シンワ歯研代表、石澤亮一先生、「プロの歯科技工士として成長していくために」
29日（土）、新東京歯科技工士学校６階にて都技生涯研修
講師、（株）シンワ歯研代表、石澤亮一先生、「歯科技工所における経営戦略とスタッフ教育」

南部ブロック大田歯科技工士会（濱田泰弘会長）主催・東京都歯科技工士会主催にて両日開催され、合計約100名の方が参加者があり、両日参加させていただきました。

その中で３つの点がポイントになると思いました「仕事を楽しむ」「歯科技工のデジタル化と社員教育」「歯科技工士不足、ラボ運営」

「仕事を楽しむ」そう望む技工士さんは決して少なくはありません。シンワ歯研さんには独自のキャリア形成、ラボライズサポート、コミュニケーションツールなどにより、いかに個人の能力を活かすかを日々コツコツと考え継続し、プロフェッショナルな仕事人を作り、患者さんの健康や笑顔に貢献出来る技工士を育てているのだと感じました。

※自分の在り方、歯科技工士として在り方を確立していく事がプロとしての道
①　新人　②一人立ち　③一人前　④主力　⑤熟達

「歯科技工のデジタル化と社員教育」「歯科技工士不足、ラボ運営」

CAD／CAM冠の保険導入によりラボにおけるデジタル化が一層進み作業の効率化に対しても効果的でプラスの部分と初期投資、ランニングコスト、材料費の増えるマイナスの部分も見られます、社員教育で大切なこと、教育の方向性を明確に、入社５年目、入社10年目、10年目以降の公平感の高い納得性の高い評価基準が重要である。

運営、ビジネスにおいては医療に関する法規制や承認制度が異なる為、海外展開は容易ではないとされてきましたが技工データでのデジタル化により業務の進め方が変わり今後は歯科技工ビジネスもグローバル化されることが見込まれており技工業界を取り巻く環境も急速に変わる可能性があると思います。技工製品単価、再製作に対する視点、先生とのコミュニケーションプロセスのとり方等、なかなか聞くことの出来ないラボさんのお話を聞かせて頂きとても充実した講演会であったと思います。

本講演会をご案内して頂きました広報担当理事の松尾さん、東京都歯科技工士会石川会長をはじめとする学術関係者のみなさまに深く感謝申し上げます。

卒後実習講習会Ⅰ

西部ブロック　杉並歯科技工士会
市川歯科技工研究所　市川俊也

横田造史氏の実習研修会に参加して

横田造史先生

長いこと、技工士会に入会しているが今回初めて研修会に参加させてもらった。

私はCAD/CAMエベレストを2003年に購入して（現在はローランド）ジルコニアの補綴を長いことやっていますが、最近のジルコニアディスクの強度、審美を兼ね備えたマテリアルの進歩は目覚ましく、それに伴いフレームのシンタリング前のステイン、シンタリング後のステイン材も各社から素晴らしい材料がたくさん出ている。しかし残念ながらそれらの長所、特性を理解しきれずにいた。

今回の研修会ではそれらの材料、また使用方法を横田氏の経験をふまえ親切に教えて頂いた。まさに私にとっては一番聞きたい話や実習内容だったのでとても勉強になった。

横田氏は現在生活しているカナダの歯科事情や、趣味で行っているサイクリングやDr達とカナダのトップリーグで行っているカーリングの話などをユーモアも含め興味深く話していただきとても楽しく拝聴した。

何よりも良かった思う点は横田氏はメーカーの方ではないフリーの立場なので自由に材料の良い点、また気を付けなければいけない点などを自らの使用経験をふまえ歯に衣着せぬ話しをしてくれた事がとても良かった。

また、今まで経験した技術やちょっとした裏技をすべて話して頂いた。

私だけかも知れないが歯科技工所の仕事はあまり外の人の話や外界に出なくても比較的仕事が成り立つ職業だと感じている。しかい新しい情報や外界の動きは日々目まぐるしく進歩している。

今回、技工士会の研修会に参加して気付いた事は、やはり自ら外へ出て新しい人と話し外の空気を吸ってみる事が大事だと感じた。懇親会では都技の石川会長も出席して頂きこれからの技工士会のあり方などを熱心に話して頂いた。

歯科技工の世界はCAD/CAMやジルコニア補綴の進歩で飛躍的に変化して来た。

横田氏はそのマテリアルの新しい使用方法を独自に考え構築している。これからも横田氏の活躍を期待している。

復職支援講習会Ⅰ

中央ブロック　豊島区歯科技工士会　田原　秀一

令和元年度　復職支援講習会Ⅰを受講して

榊原功二先生

令和元年７月28日（日）フクラシア東京ステーション C会議室にて、榊原功二先生の、咬合再構築の要件「Sequential Occlusion」を受講しました。榊原先生はオーストリアのウィーン大学に留学され、ドクターであり歯科医師のルドルフ・スラビチェック教授の元で咬合学などを学ばれたそうです。人間の咀嚼機関の進化的背景はDNAを解析すると魚の鰓と同じで脳に直結してるので物凄く鋭い感覚受容器だと言う話しや先生のお孫さんの話しを交えたブラキシズムとストレスの関係の話しなど興味深い話が盛りだくさんでした。CAD/CAMなど歯牙形態作成方法が大きく変わってきた今、ベテランにも臨床経験が浅い若い人にも咬合学を考える刺激的な公演だったと思います。

『今後のデジタル社会を見据えたラボ経営』を拝聴して

都技メイト会員　加藤　麻衣

戸田勝則先生

歯科医院は増え続け、予防歯科の浸透により虫歯が減ってきているこの現状、今後歯医者の売り上げは人口の減少とともに25％はダウンすると考えられる。

そうなると歯医者も利益を伸ばすために技工料を下げて欲しいと言われる状況が必ず訪れる。その時に今まで通りのアナログだけに頼った技工所を経営しているとどのようなことが起こるのか？　安価な技工料で今までと同じ利益を出すには数をこなさなければならなくなるため残業が増え、技工所の労働環境の改善は難しくなるだろう。

大田歯科技工士会
濱田康弘会長

「技術と増益と審美」が今後の鍵となっていく。

では、どう変わっていけば生き残れるのか？　今までアナログでやっていた仕事をデジタルに変えようとするのではなく、デジタルで何ができるのかを考えることが大切であると言える。CAD/CAMをみんなが持っているのが当たり前となった今の時代、何を特化させられるのか？　ということを考えた時に大切なのはデジタル情報の共有になってくる。印象やX線がデジタルになることで歯科医師、衛生士、技工士で情報共有ができるようになる。

技工所にとってもデジタル技工にすることでメリットはたくさんある。例えばインプラントで上部構造を作製する場合、光学印象にすることで製作時間で５割、コストで３割の削減が見込める。光学印象を取り入れている歯科医院はまだ少ない印象だがこれから着実増えていくだろう。

デジタル技工を全く取り入れず生き残っていくことは難しいが、自社でデジタル機器を導入するメリット、デメリットを考えていかないと損失がでてしまう。例えばCAD/CAM両方とも導入を考えた場合1,000万ほどの投資が必要となる。

使用することで消耗品やロストから発生する雑費支出も考えると自社で月100本以上の加工ケースがないと所有は無意味である。

そこで、アウトソーシングを考える必要がある。自社でCADのみを所有し、削り出しは他社に任せる、ワックスアップをしダブルスキャンを他社に任せるなど自社で全てを完結させようとせず他社と連携をとっていくことで生き残れるように変わっていく必要があるということが今回の講演を聴き、よくわかりました。

今も出始めているようにCAD専門のラボ、CAM専門のラボと言うように、アナログ技工とは少し違った形で利益を出し生き残っていくラボが増えていくだろう。

そのためには初期の設備投資は必要最低限で、多様化

する出力方法を活用し、柔軟な発想で「技術と増益と審美」について考えていくことで生き残れるラボスタイルが確立できるということが戸田先生のお話がとても参考になりました。

個人的にデジタルは精度が高くない、光学印象を取り入れている歯科医院もまだ少ないという印象でしたが戸田先生のお話を伺いデジタルでもほとんどノンアジャストの精度で製作することができ、矯正のデジタルシミュレーションなどには光学印象が効果的で患者にも分かりやすくアプローチすることができることがわかったので、今後デジタルをどう活かして自分たちの仕事に取り入れていくかを考える良い機会となりました。

「デンタルCADソフト・デザイン・マスターコース」に参加

中央ブロック　新宿歯科技工士会　川村　莉緒

2019年７月７日（日）、東京都歯科技工士会研修室にて難羽康博先生による「デンタルCADソフト・デザイン・マスターコース」を受講しました。

難羽康博先生

今回はCADソフト未経験者を対象としたコースであり、オーダー作成からデザインの基本操作を学習しました。

先生がステップごとに操作をし、説明をしてくださったので、初心者の私でもスムーズに進めることが出来ました。このステップのおかげで、どこを直したらいいのがわからなくなったり、手順を戻ったりすることがなかったのでとてもやり易かったです。

当初私はCAD/CAMは操作が難しく時間がかかるという印象を持っておりましたが、こんなに簡単なのかと驚きました。

全５回、臨床で生かせるようしっかり学びたいと思います。

【ブロック情報】

＜西部ブロック＞

中野歯技義歯名入れに参加して

中野歯科技工士会　長津　弘志

令和元年６月23日（日）に中野区特別養護老人ホーム、ベタニアホームにおいて義歯名入れ事業を行いました。このホームでは何年も名入れを行っていて、義歯の数は少なめでした。当日は中野から７名と歯科医師会の先生１名に参加して頂き、朝９時半に集合、準備して10時より作業開始し入居者10名分16床の義歯名入れを行い11時半にすべて完了しました。今回も何事もなくスムーズに終われました。最近は義歯の手入れも良く、ホームのスタッフがいつもきれいに義歯を管理していてとてもやりやすかったです。又義歯入れの古いケースを新しいケースに変え、名札も新しくしたことで管理しやすくなったのと、義歯が誰の物かすぐ解るとホームのスタッフに大変喜んで頂きました。参加してくれた中野歯技会員諸氏と歯科医師会の先生に感謝すると供に来年も又協力して頂けるようにお願いして報告といたします。

【組織活動報告】

令和元年度東京都・多摩市合同総合防災訓練参加報告

社会福祉担当常務理事　妹島　利行

令和元年９月１日（日）９：00～13：00　多摩直下地震（M7.3）冬の18時、風速８m/sの被害規模を想定し多摩センター駅周辺を会場に東京都・多摩市合同総合防災訓練が行われ東京都歯科技工士会から２名参加した。

医療救護活動訓練を、都および市の福祉保健部門、災害拠点病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、日赤等が連携し、拠点病院や緊急医療救護所において負傷者に対し初期医療措置等を実施した。トリアージエリアにて傷病者に対しトリアージを実施後、歯科医療救護を歯科医師２名、歯科衛生士６名、歯科技工士２名で２班に分かれて行われた。

エリア別ミーティング、エリア長ミーティング、訓練、エリア別ミーティング、エリア長ミーティングのスケジュールで２回繰り返し、災害医療の理解を深め医療救護における連携と役割分担の重要性を知った。

平時から東京都歯科技工士会会員の皆様に、災害時医療救護活動の周知徹底を図る必要性を感じた。

第15回都技ボウリング大会報告

組織担当常務理事　鈴木　隆夫

令和元年７月15日（月）、高田馬場「シチズンボウル」にて48名参加で開催されました。今回の運営は、都技連盟協議会と野球連盟に手伝っていただき、２ゲームトータルの個人戦を行いました。例年とは違った祭日『海の日』のボウリング大会となり参加者の人数を心配しましたが、手伝いの方々と参加者全員の協力で、成績発表の懇親会もあり交流を深める楽しい一日となりました。

個人成績（上位５位まで掲載発表）

１位　押井　一郎（銀座）
２位　小笠原　明（新宿）
３位　狩野　眞澄（千代田）
４位　大塚　忠二（世田谷）
５位　富田　博（板橋）

協賛各位

株式会社ジーシー様・相田化学工業株式会社様・
株式会社セレモア様・一世印刷株式会社様・
東京都歯科技工士連盟協議会様
＊ご協力ありがとうございました。

2019年度　第３回東京都歯科技工士会理事会議事録

日　時：2019年６月14日（金）19：00～21：00
場　所：東京都歯科技工士会館
出席者：石川会長、西澤・宇山・小笠原副会長、狩野専務理事、池田・鈴木・木下・長津・松尾・山本常務理事（理事11名中９名出席）
欠席者：池田・山本常務理事
監　事：山本哲也・西村監事（監事２名中２名出席）
議事録作成者：木下徳哉

【議事内容】

１、会長挨拶
開会に関する挨拶があった。

２、議事録署名人選出　狩野専務理事、長津常務理事
2019年度第２回理事会議事録の内容確認があった。

３、議事（協議）
①　第７回社員総会議案書の件（狩野専務）
社員総会議案書の元号の統一等の修正をして、全会一致で承認された。
②　日本臨床歯科CADCAM学会関東甲信越支部例会後援依頼の件（石川会長）
審議の結果、日本臨床歯科CADCAM学会の後援依頼を了承することが、全会一致で承認された。

４、報告事項
（総務部・庶務、財務）担当副会長宇山
①　庶務報告（木下常務）
特になし。
②　財務報告（狩野専務）
“５月会費納入・未納状況表６月14日現在”について報告があった。
（組織部）担当副会長西澤
①　組織部報告（鈴木常務）
“組織状況表５月１日～５月31日”について報告があった。
②　組織承認事項報告（鈴木常務）
“５月会員異動表５月１日～５月31日”について入会者３名・退会者３名の報告があった。
③　慶弔見舞報告（鈴木常務）
慶弔見舞い報告５月１日～５月31日について０件の報告があった。
（学術部）担当副会長小笠原
①　都技学術講習会開催計画報告（石川会長）
全都講習会は令和２年３月１日（日）に、東京歯科大学で開催予定との報告があった。
（品質管理部・経営部）担当副会長宇山
①　品質管理部報告（木下常務）
特になし。
②　経営部報告（鈴木常務）
６月23日（日）に行われる経営講習会のリーフレットの誤りについて報告があった。
（社会福祉部）担当副会長西澤
①　上野動物園行事、歯と口の健康週間報告（長津常務）
６月９日（日）に協力、参加した上野動物園行事の報告があった。
②　社会福祉事業計画報告（長津常務）
平成31年度社会福祉事業計画・報告について義歯名入れ２件、防災訓練０件、地域催事参加１件の報告があった。
（広報部）担当副会長小笠原
①　Den-tec Tokyo 報告（松尾常務）
518号（８月号）の原稿を各事業部から上げるよう依頼があった。
②　ホームページ報告（澤村 HP 部員）
東京都歯科技工士会ホームページの４月のアクセスは848件との報告があった。
（日技、他団体関連）
①　日技報告（西澤副会長）
明日の６月15日（土）に第８回日技社員総会が行われる。地域会長会から要望等があれば伺いたいとの発言があった。また、日技友の会について説明があった。

５、承認事項
①　日程表（狩野専務）
令和元年６月～９月の日程表の提出により、今後の予定についての説明があった。
７月26日（金）の理事会は19：00から開始との確認があった。
６月29日（土）の第７回社員総会は13：00から開始との報告があった。

６、監事所見
（西村監事）
新理事との引継ぎを確実に行うよう監事所見があった。
（山本監事）
理事会の資料等、元号の統一に関する監事所見があった。

在京歯科技工士学校同窓会連絡会　創立30周年記念祝賀会

江上会長「新たなスタートに」

東京歯科技工士専門学校同窓会　奥村　勝

全国の歯科技工士学校の同窓会はそれぞれ独自で活動しているが、相互の理解・親交を深める趣旨でスタートした在京歯科技工士学校同窓会連絡会（以下在京同窓会）が創立30周年を迎え、７月14日、東京お茶の水・中央大学駿河台記念館－レストラン・プリオールにて、標記祝賀会が開催された。

当日は関係者約50名が参集し、在京同窓会の30年という歴史を振り返り、歯科技工士を取り巻く環境は依然として厳しい状況ではあるものの、これを新たなスタートとして未来に向けて邁進していくという意欲を再確認した。

阿曽敏正氏（日歯大・東京短期大学）の開会の辞より進められ、まず、江上勝二会長から要旨以下のような挨拶があった。

「1989年に発足した本会が30年という歴史を刻み、本日、こうして祝賀会を開催できることは、来賓を始め各校同窓会の役員・会員の皆様の理解と支援があったからであり、改めて感謝申し上げます。そもそも本会は1980年、東医歯大技友会と日大歯学部附属歯科技工専門学校同窓会が発起人となり、設立準備会を立ち上げ、在京歯技同窓会役員懇談会、さらに1989年に在京歯科技工士学校同窓会連絡会としてスタートしたものです」と発足の経緯を説明した。続けて「本会会長には、初代：中村廣次先生、２代目：小川八郎先生、３代目：奥村眞二先生、そして４代目に私・江上が仰せつかっています。また、発足当時から東京都歯科技工士会とは懇談会を開催し、相互連携・協力を図っており、組織体型は違うが目標とするところは同じで、各組織の信頼・成長を期するところでもあります」と都技との関係にも報告をした。

一方で、「本連絡会より５年早く設立された、関西11同窓会からなる“歯科技工士学校同窓会連絡協議会”と全国歯科技工士専門学校同窓会懇談会を立ち上げ、2014年に全国歯科技工士専門学校同窓会連絡会に改称して全国組織委としてスタート。初代会長には私・江上、現在は２代目の奥田純一先生が就かれご尽力されています。このように周囲の環境が変わりつつある中で、技工業界の未来、若い歯科技工士のために将来を見据えて、会務運営に新たな思いで臨んでいる次第です」と本会の意義と新たな意欲を述べた。

続いて、関係団体から来賓祝辞があり、今までの活動評価と今後への期待を寄せていた。各祝辞要旨は次の通り。

「30年継続していることにまず敬意・謝意を表したい。こうした歴史の中で、養成機関への入学者数・国試合格者数の逓減に懸念を抱きますが、歯科技工の面では、顎顔面領域、外科・矯正領域での連携、普及するCAD/CAMなどへの対応など新たな領域が広がりつつあります。歯科技工士にはこうした分野からの期待があります。この点の問題意識を含めて、在京同窓会に期待するところです」髙橋英和・東医歯大大学院教授（口腔保健学科教育委員長）

「厳しい環境にあるが、日技としてもあらゆる場面で、課題を指摘しその対応に尽力している。本当に夢を有して業界に来た若い技工士の期待に沿えるよう努力・協力していきたい」杉岡範明・日本歯科技工士会会長。

「臨床現場では、技工料金、学術環境、経営面での課題があるが、在京同窓会の意見を尊重しながら、技工業界の財産である若手歯科技工士をサポートしていきたい」石川功和・東京都歯科技工士会会長（日本歯科技工学会副会長）

「活発な議論を重ねて来た技同協ですが、在京同窓会の活動に刺激・参考にしながら新たな取り組みをしています。歯科技工士として抱える問題は同じです、今後も相互理解しながら頑張ってほしいし、さらなる期待をしています」時見高志・歯科技工士学校同窓会連絡協議会会長代行。

奥田純一・全国歯科技工専門学校同窓会連絡会会長の乾杯の音頭で祝宴になった。相互に知り合う関係者であるが、在京同窓会の歴史、思い出、人との出会いなどの話題で歓談が続き、会場が和気藹々の雰囲気の中で、歯科技工士として共通の思い・期待を確認していた。会場からは、「会がここまで継続するとは少々驚いている。でも会長ほか役員そして関係者の努力があったことは容易に想像できる。だからこそ、今後さらに業界に一石を投じられるよう頑張ってほしい」（東京都）、「中堅・若手の育成がこれからの課題ですが、現在はどの世界でも同様な課題を背負っています。基本は情報共有ですが、その意味でもこの会は意義がある」（神奈川県）などの意見も聞かれた。

祝電披露、吉田茂夫氏（愛歯）の中締め、髙柳敦氏（東医歯・技友会）の閉会の辞でめでたくお開きとなった。

都技のうごき

8月

4日（日）　デンタルCADソフト・デザインマスターコース　レベル2
18日（日）　デンタルCADソフト・デザインマスターコース　レベル3
23日（金）　東京都予算要望
25日（日）　最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅰ
30日（金）　学校懇談会
31日（土）　デンタルCADソフト・デザインマスターコース　レベル4

9月

1日（日）　デンタルCADソフト・デザインマスターコース　レベル5
6日（金）　第1回広報部会
15日（日）　第20回歯型彫刻コンテスト『ほるほる』
23日（月）　首都圏野球大会
27日（金）　第5回理事会
28日（土）　第3回地域会長会議
　　卒後実習講習会Ⅱ
29日（日）　卒後実習講習会Ⅱ

新入会員紹介

馬場　俊樹（新宿）
　北海道歯科技術専門学校歯科技工士科　H20年3月卒
坂上　大吾（葛飾）
　東京滋慶学園・新東京歯科技工士学校　H6年3月卒
加藤　悠太（品川）
　共生学園・新横浜技工士専門学校　H19年3月卒
星　　茂幸（新宿）
富山歯科総合学院歯科技工士科　S54年3月卒

会費掛け金入金のお願い

引落日は以下の通りですので、口座残金のご確認をお願いします。
○会費掛金の引落日は毎月18日です。
※引落日が土曜は翌々日、日祭日の場合は翌日が引落日になります。

■会費のご案内

- 毎月の会費は①日技会費　②都技会費　③地域技工士会費　④引落手数料を合計したものになります。
- 自営者、勤務者、終身会員（70歳上／在籍25年）により会費が異なります。ホームページの入会のご案内、会費案内を参照の上、ご確認下さい。
- 地域技工士会はお住まい・ご勤務地に関わらず、自由にご指定いただけます。

※活動内容も地域により違いがあります。詳しい内容はホームページの「地域技工士会活動情報」をご覧いただくか、「お問い合わせ」にてご確認下さい。

都技慶弔見舞

(1)　死亡及び高度障害状態のときは、見舞金10万円。
(2)　配偶者及び会員の親、同居の子の死亡のときは、香料1万5千円。
(3)　全治15日以上の病気又は傷害のときは、見舞金1万円。ただし、年1回とする。
(4)　出産のときに祝金1万円。
(5)　自宅又は歯科技工室が半焼以上のときは見舞金1万円。一部焼失のときは見舞金5千円。
(6)　災害により自宅又は歯科技工室が全壊又は全焼したときは見舞金1万円。半壊又は半焼のときは見舞金5千円。ただし、地震のときを除く。

※事項の発生から30日以内に都技へお申し出ください。

偶数月1日発行
発　行　所／〒170－0004　東京都豊島区北大塚2－2－10
　　ヴィップ大塚香川ビル4階
　　電　話（03）3576－5611・FAX（03）3576－5615
　　一般社団法人　東京都歯科技工士会
編集発行人／石川功和
編　集　者／都技広報部
印　刷　所／一世印刷株式会社

kuraray
「カタナ®アベンシア®ブロック」
「カタナ®アベンシア®Pブロック」は
2年保証サポート対象です。
製品の詳細及び2年保証サポートの適用条件についてはこちら

●ご使用に際しましては添付文書を必ずお読み下さい。●仕様及び外観は、製品改良のため予告無く変更することがありますので、予めご了承下さい。●「アベンシア」は株式会社クラレの登録商標です。●「KATANA」及び「カタナ」は株式会社ノリタケカンパニーリミテドの登録商標です。
カタナ®アベンシア®ブロック ユニバーサル用　管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料　医療機器認証番号：226AFBZX00116000
カタナ®アベンシア®Pブロック　管理医療機器 歯科切削加工用レジン材料　医療機器認証番号：229AFBZX00091000
Noritake
製品・各種技術に関するお問い合わせ
クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル
0120-330-922
月曜～金曜 10：00～17：00
ホームページ
www.kuraraynoritake.jp
［製造販売元］クラレノリタケデンタル株式会社
〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28
［販売元］株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
お客様相談センター：0800-222-8020
クラレノリタケデンタル株式会社

ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS(アサヒメタルアカウントシステム)という

金・白金・パラジウム・銀を、それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック(株)の分析能力が、世界的に評価されているということ

小さな資源を、あらたな資産へ

ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部／〒100-0005　東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー

TEL(03)6270-1831　FAX(03)6270-1825　URL：http://www.asahipretec.com

■ 営業所／札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄